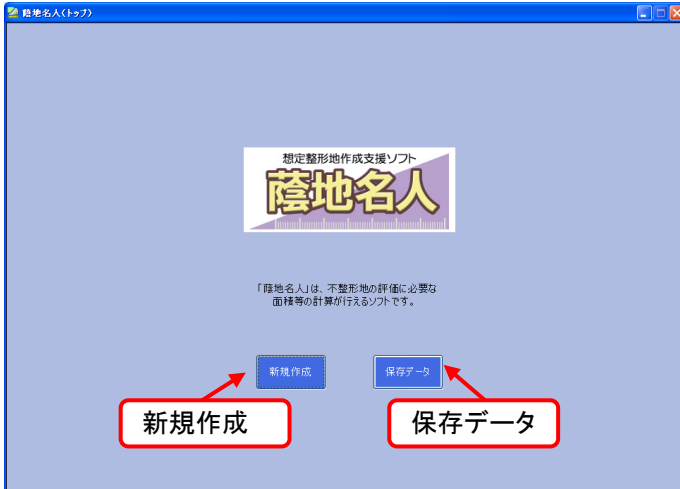


蔭地名人 操作マニュアル - 無道路地 -

無道路地

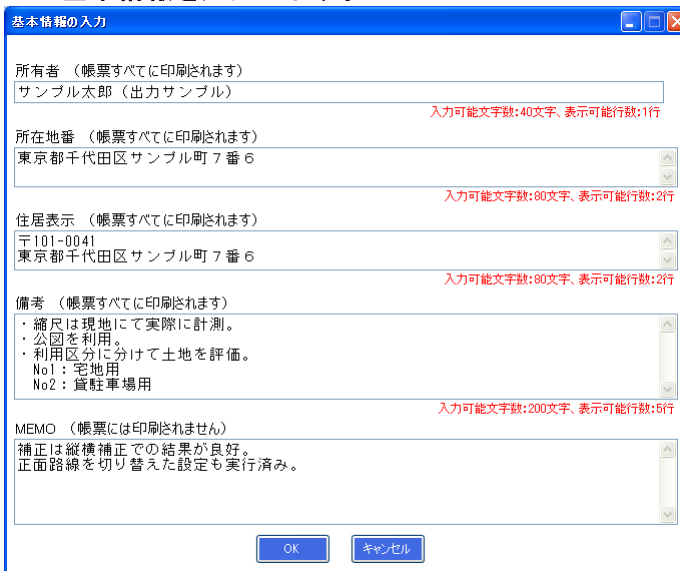
無道路地の設定方法です。

1. 起動画面で新規作成を選びます。



新しい図面を利用して作業を開始する場合は起動画面で「新規作成」を選びます。作業中、または作成済みの保存データを編集する場合は保存データを選びます。

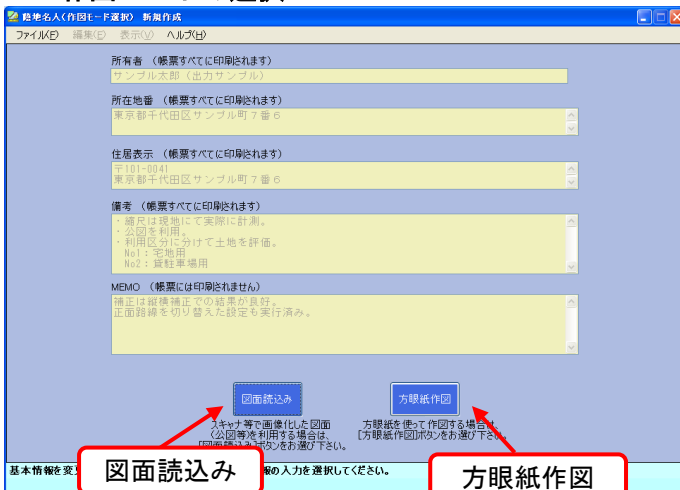
2. 基本情報を入力します。



評価対象地の所有者、地番、住居表示などを入力します。入力した基本情報はMEMO欄を除き、すべての出力帳票に印刷されます。基本情報は[ファイル] → [基本情報の入力] でいつでも入力・修正することができます。

入力したら[OK]を押します。

3. 作図モードの選択



スキャナ等で画像化した公図や測量図の画像データを当ソフトに読み込む画面です。

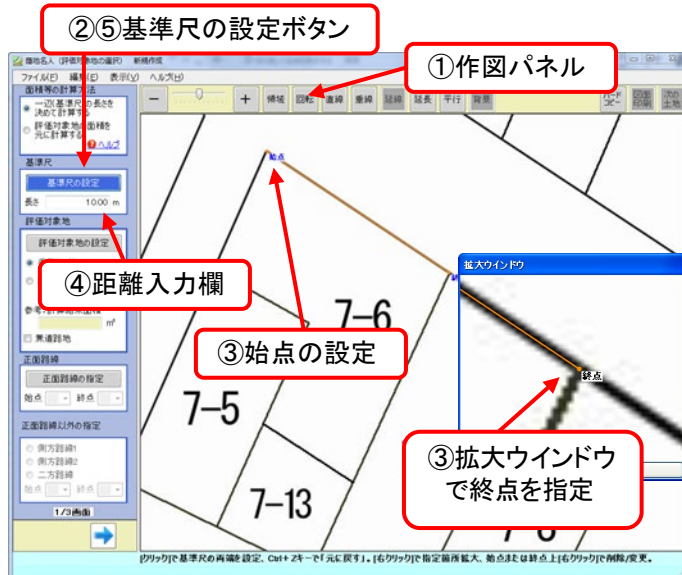
◆ [図面読み込み] ボタン

このボタンを押すと、画像データ(公図や測量図)を当ソフトに読み込むことができます。通常はこちらを選びます。

◆ [方眼紙作図] ボタン

画像化した公図や測量図データが無い場合に方眼紙上で作図できるようになります。

4. 評価対象地の設定 ①基準尺の設定

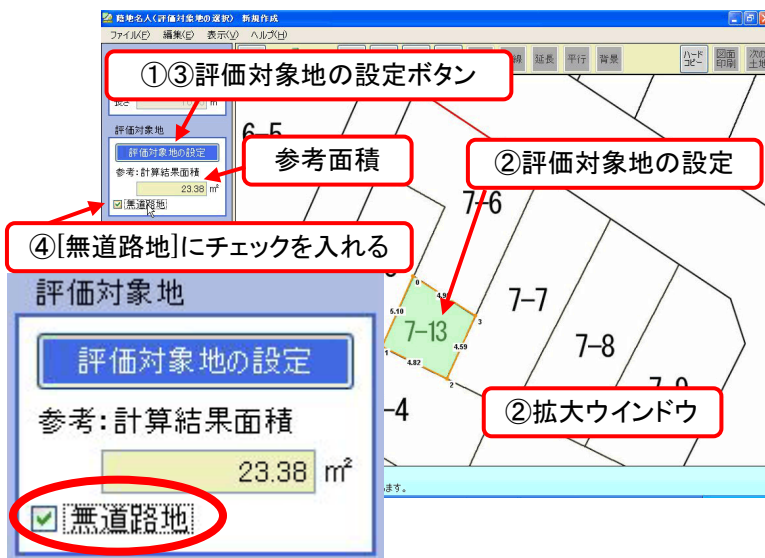


図面の縮尺を求めるため、任意の2点を指定してその距離を入力します。

■基本的な操作方法

- ① 作図パネルで図面の拡大・縮小、回転などを行い、図面を操作しやすい状態に整えます。
- ② [基準尺の設定]ボタンを押し、ボタンが青色になっていることを確認します。
- ③ マウスで図面内に始点と終点を指定します。図面上でマウスを右クリックすると、拡大ウインドウ(2倍~6倍)で正確に指定できます。
- ④ 始点~終点間の距離を入力欄に入力します。小数点第6位まで入力可能です。小数点7桁以上を入力した場合は、数字が赤く表示されます。
- ⑤ [基準尺の設定]ボタンを押します。ボタンの色がグレーに変わります。

5. 評価対象地の設定 ②評価対象地の設定



評価対象地をマウスで囲んで指定します。

■基本的な操作方法

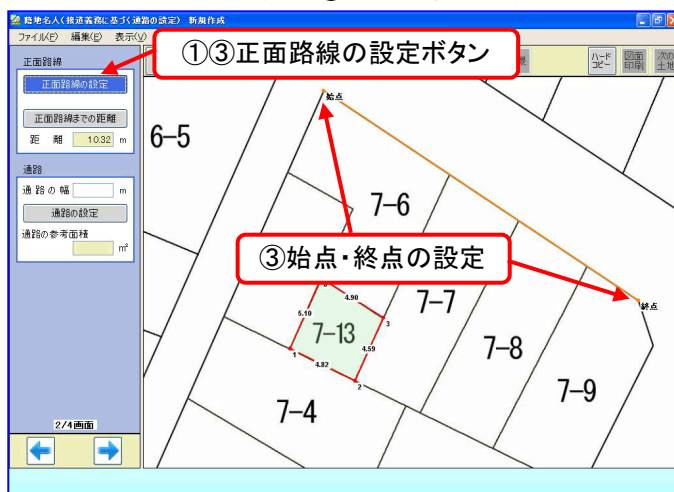
- ① [評価対象地の設定]ボタンを押し、ボタンが青色になっていることを確認します。
- ② マウスで評価対象地を囲むように、各角を指定していきます。右クリックによる拡大ウインドウで指定すると正確に指定できます。
- ③ [評価対象地の設定]ボタンを押します。ボタンの色がグレーに変わります。
- ④ [無道路地]にチェックを入れます。
- ⑤ 指定が終了したら [→] ボタンを押します。

※[無道路地]の設定をすると、[正面路線の指定]、[正面路線以外の指定]のボタンが押せなくなります。

正面路線や通路は、次の画面で設定します。

※評価対象地を指定すると参考面積が表示されますが、後で正確な面積に補正できます。

6. 評価対象地の設定 ③正面路線の設定



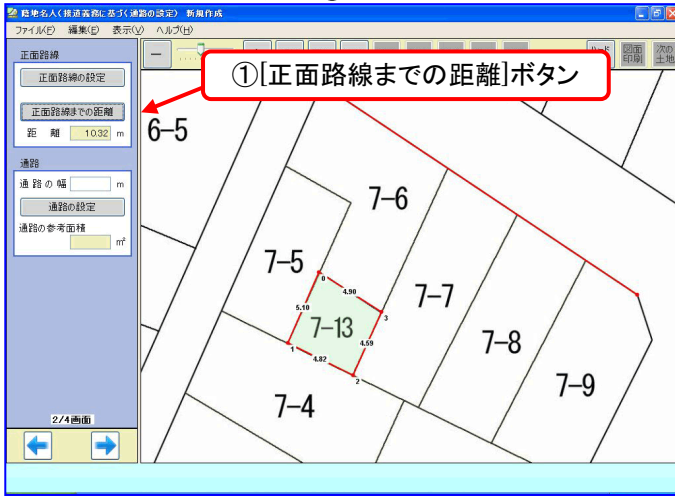
正面路線を設定します。

※正面路線の設定は、評価対象地から最短距離(垂線)が引けるように設定してください。

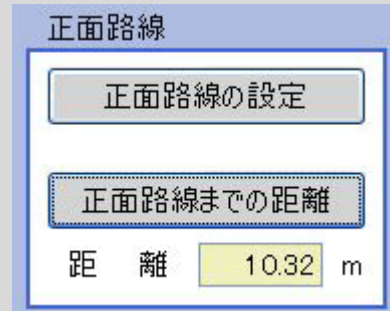
■基本的な操作方法

- ① [正面路線の設定]ボタンを押し、ボタンが青色になっていることを確認します。
- ② 正面路線となる部分をマウスで指定します。マウスで図面内に始点と終点を指定します。図面上でマウスを右クリックすると、拡大ウインドウ(2倍~6倍)で正確に指定できます。
- ③ [正面路線の設定]ボタンを押します。ボタンの色がグレーに変わります。

7. 評価対象地の設定 ④正面路線までの距離



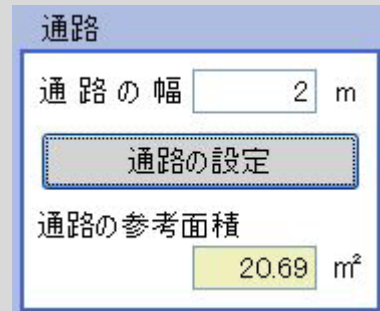
- ① [正面路線までの距離]ボタンを押すと、自動で正面路線までの距離を計算します。



8. 評価対象地の設定 ⑤通路の設定



- ① 通路の幅を入力します。
※小数第2位まで入力できます。
- ② [通路の設定]ボタンを押すと、通路が描画され、接道義務に基づく通路の参考面積が表示されます。



- ③ 指定が終了したら [→] ボタンを押します。

9. 図面の補正



図面上で指定した評価対象地の面積（参考面積）が、実際の面積になるよう図面を補正します。

■基本的な操作方法

- ① [評価対象地の面積]欄に評価対象地の実際の面積を入力します。
- ② 補正方法をボタンで選択します。[縦] [横]均等補正が一般的ですが、必要に応じて補正方法を選んでください。
- ③ 補正方法を選ぶと図面が補正方法に従って伸縮し、表示されている評価対象地を囲む線の各距離も補正されます。
- ④ 指定が終了したら [→] ボタンを押します。

※評価対象地の実際の面積

測量図、または固定資産税の納入通知書、登記簿記載の土地面積など

※補正なしを選択すると図面は補正されませんが、この後の計算上の辻褄が合わなくなることがありますので注意してください。

10. 測定 ①正面路線の設定



間口を設定します。

■基本的な操作方法

- ① [各種設定]から[間口の設定]ボタンを押し、ボタンが青色になっていることを確認します。
- ② 図面上にマウスで間口の両端を設定します。
- ③ [間口の確定]ボタンを押します。ボタンの色がグレーに変わります。

※間口の確定後、再度 [間口の設定] ボタンを押すと、設定した間口がリセットされます。

11. 測定結果の印刷

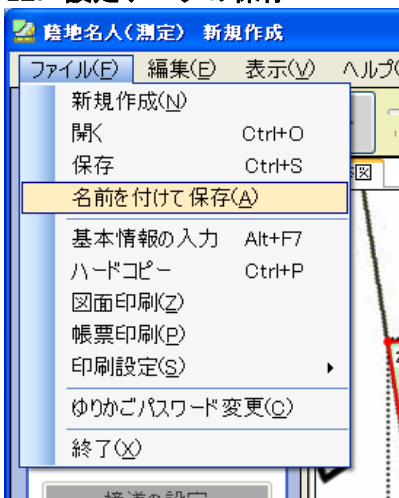


測定結果を帳票印刷します。

■基本的な操作方法

- ① [帳票印刷]ボタンを押します。
- ② 印刷プレビュー画面が表示されますので、印刷内容を確認します。「印刷設定」から、補正方法の印字・評価対象地の印刷サイズの設定ができます。
- ③ 印刷アイコン (プリンタの絵) を押して印刷してください。

12. 設定データの保存



設定データを保存します。

■基本的な操作方法

- ① 上部メニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選びます。
- ② 適当な名前を付けて保存してください。

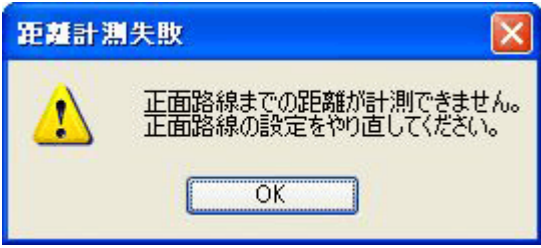

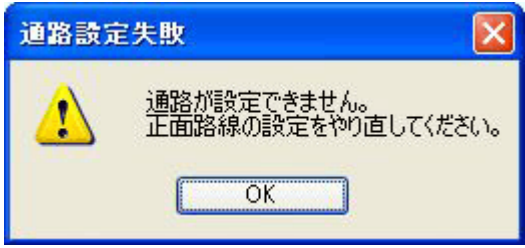
※保存データの拡張子は「.kgd」です。

※保存データ「.kgd」の中には読込んだ図面も含まれています。

※保存データ「.kgd」をダブルクリックすると蔭地名人が自動で起動します。

設定時にメッセージが表示された場合の確認内容

設定時にメッセージが表示された場合は、以下の内容をご確認ください。

	メッセージ内容	ご確認内容
1		<p>正面路線が短く設定されていませんか？</p> <p>※正面路線の設定は、評価対象地から最短距離(垂線)が引けるように設定してください。ただし、評価対象地の状況によって正面路線に対して最短距離(垂線)が引けない場合がございますが、そのケースでは対応できません。</p>
2		<p>①通路の幅を入力していますか？</p> <p>②正面路線から評価対象地に対して垂線が引けない場合、エラーとなります。</p>
3		<p>正面路線が短く設定されていませんか？</p> <p>正面路線が短く指定した幅の通路が引けない場合、エラーとなります。</p> <p>※正面路線の設定は、評価対象地から最短距離(垂線)が引けるように設定してください。ただし、評価対象地の状況によって正面路線に対して最短距離(垂線)が引けない場合がございますが、そのケースでは対応できません。</p>